

令和6年度
近江八幡市まち・ひと・しごと創生懇話会
事業シート

事業シート

事業名	体験型事業創出事業
-----	-----------

総合戦略における 位置付け	重点戦略	重点戦略①:稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする			
	個別戦略	重点戦略①-ア:地域資源・産業を生かした地域の競争力強化			
	重要業績 評価指標 (KPI)	年間商品販売額			
			数値	単位	時期
		基準値	141,794	百万円	令和5年度
		目標値	150,000	百万円	令和10年度

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 【財源】 ふるさと応援基金繰入金 18,180千円
	1	需用費	30,000	5			
	2	負担金補助及び交付金	18,150,000	6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					18,180,000	
	交付対象事業費(※デジ田交付金を活用の場合)					—	
	交付決定額(※デジ田交付金を活用の場合)					—	

事業の目的	コト消費が出来る施設・店舗を本市に増やすことでさらなる来訪者を獲得し、新たな消費傾向に対応した販売チャネル・地域経済基盤の確立を推進し、市外からの来訪者の滞在時間や消費支出の拡大を目的として る。 加えて、本市に受け継がれてきた地域資源の体験型事業(コト消費)を促進することで、その地域資源の認知度を高め本市の魅力度向上を図る。																																																																																																																																																											
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 以下の申請枠を設け、補助金を受け付けた。 ＜一般枠＞ 市内で新たに体験型事業を実施する場合に対象。 補助率:2/3 上限額:100万円 ＜地域資源枠＞ 「一般枠」に加えて、本市を構成する上で不可欠な構成要素の中から「自然」「食」「伝統」のいずれか一つ以上を体験型事業に取入れた場合に対象。 補助率:3/4 上限額:100万円 (地域資源の例)自然:ヨシ小物制作 食:地場産ハンバーガー 伝統:近江牛革を用いた革製品制作 ＜早朝・夜間枠＞※R6新設 「一般枠」に加えて、早朝(概ね6時～9時)または夜間(概ね18時～翌日6時)の特性を活かした補助対象事業を実施する場合に対象。 補助率:3/4 上限額:100万円 ＜新規創業枠＞ 「一般枠」に加えて、創業後3年以内の場合に対象。 補助率:2/3 上限額:150万円 ＜併用枠＞ 「地域資源枠」「早朝・夜間枠」「新規創業枠」のいずれか2つ以上に該当する場合に対象。 2つに該当:補助率:3/4 上限額:150万円 3つに該当:補助率:3/4 上限額:200万円 ＜ブラッシュアップ枠＞ 既に市内で実施している体験型事業であって、磨き上げを行う事により、事業の魅力向上が図れ、参加者数の増加が見込まれる場合に対象。 補助率:2/3 上限額:30万円 ＜加算要件＞申請枠とは別に、補助金の加算要件を設定。 体験型事業を本市のふるさと納税の謝礼品に登録する場合、補助金額を5万円加算(各申請枠の上限額は加味しない) ＞審査会を開催し、申請書類への記載項目の他、事業者からの説明や質疑応答により、採択可否について審査を行った。 ＜採択件数＞ 令和4年度…8件 令和5年度…9件 令和6年度…4件																																																																																																																																																											
	【今後の実施予定内容】 R7年度は、引き続き今年度と同様の内容で継続したいと考えている。 R8年度には、事業者同士のコラボレーションを促す申請枠について検討している。																																																																																																																																																											
課題	・補助対象事業の要件の再検討 市内の観光スポット等を巡るツアーを体験内容とした申請があったが、点と点を結ぶツアーよりも、点そのものを増やすことを重視しており、ツアー事業の取り扱いについて検討が必要である。																																																																																																																																																											
スケジュール	<table><tr><th colspan="10">R6年</th><th colspan="3">R7年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">← 受付(第1次) 受付(第2次) 受付(第3次) →</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">← 次年度以降の内容検討 →</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>審査会(第1次)</td><td></td><td></td><td>審査会(第3次)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>審査会(第2次)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>実績報告受付(第1次)</td><td></td><td></td><td>実績報告受付(第3次)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>実績報告受付(第2次)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可													R6年										R7年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					← 受付(第1次) 受付(第2次) 受付(第3次) →						← 次年度以降の内容検討 →								●			●										審査会(第1次)			審査会(第3次)											●													審査会(第2次)																●			●										実績報告受付(第1次)			実績報告受付(第3次)											●												実績報告受付(第2次)			
R6年										R7年																																																																																																																																																		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																
				← 受付(第1次) 受付(第2次) 受付(第3次) →						← 次年度以降の内容検討 →																																																																																																																																																		
					●			●																																																																																																																																																				
					審査会(第1次)			審査会(第3次)																																																																																																																																																				
						●																																																																																																																																																						
						審査会(第2次)																																																																																																																																																						
									●			●																																																																																																																																																
									実績報告受付(第1次)			実績報告受付(第3次)																																																																																																																																																
										●																																																																																																																																																		
									実績報告受付(第2次)																																																																																																																																																			

事業シート

事業名	観光プロモーション事業
-----	-------------

総合戦略における 位置付け	重点戦略	重点戦略②:新しいひとの流れをつくる			
	個別戦略	重点戦略②-イ:関係人口の創出・拡大			
	重要業績 評価指標 (KPI)	観光入込客数			
			数値	単位	時期
		基準値	5,215	千人	令和5年度
		目標値	5,500	千人	令和10年度

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 【財源】 ふるさと応援基金繰入金 2183.5千円
	1	委託費	21,835,000	5			
	2			6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					21,835,000	
	交付対象事業費(※デジ田交付金を活用の場合)					—	
	交付決定額(※デジ田交付金を活用の場合)					—	

事業の目的	・近江八幡市観光振興計画で掲げた理念「近江八幡ライフスタイルツーリズム」に基づき、市民と観光客にまちの魅力を効果的に伝えることを目指す。 ・観光資源の魅力を最大限引き出すべく、調査、手法・実施時期・ターゲットなどを総合的に示すプロモーション戦略を策定し観光プロモーションを実施、観光理念の実現と「本市観光の魅力を知る・実際に訪れる・価値を理解する・ファンになる」といったサイクルを拡大する。												
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 (今年度) ・新しい観光ウェブサイトの制作 観光客及び市民にまちの魅力を発信するためのコンテンツを掲載したwebサイトを制作。(3月末公開予定) 季節ごとの特集やおすすめスポットを随時追加し、成長するwebサイトを目指す。 (関連する過年度実施内容) ・観光ルートの策定 観光スポットの周遊促進を図り、滞在時間の延長、観光消費額の増加、満足度及びリピート率の向上を目的として実施。パンフレットの作成とウェブページの公開。 ・八幡堀ライトアップ 夜の賑わいを創出することで、治安維持や地域の魅力向上、また滞在時間延長に伴う宿泊客増加による観光消費額の増加を目的として実施。 【今後の実施予定内容】 ・市民ライターによる情報発信 市民目線でみた地元の隠れた魅力やユニークな体験を紹介する。新しい視点から見た情報を発信することで地域の魅力向上に繋げる。また、観光消費額増加に視点を向けた記事を作成し発信する。 ・SNSの活用 インフルエンサー等による情報発信の検討。また、ハッシュタグの育成による情報発信の強化を検討。												
課題	・新しいwebサイトの周知 完成したwebサイトを多くの人に活用してもらうための情報発信。 ・新しいwebサイトおよびSNSの随時発信 成長するwebサイトにするための体制強化。 ・市民ライター制度の継続 市民ライターの育成及び継続のための体制づくり。												
スケジュール	R6年										R7年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	↔ 観光ルート 策定				← 調査・分析								→
								← webサイト制作					↔ webサイト公開
※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可													

事業シート

事業名	乳児等おむつ等支給子育て支援事業
-----	------------------

総合戦略における 位置付け	重点戦略	重点戦略③:結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	個別戦略	重点戦略③-ア:結婚・出産・子育ての支援			
	重要業績 評価指標 (KPI)	該当するKPIなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☒	子ども・子育て施策推進交付金		

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 【財源】 子ども・子育て施策推進 交付金(県) 15,071千円 ふるさと応援基金繰入金 18,350千円
	1	委託費	33,229,000	5			
	2	消耗品費	191,400	6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					33,420,400	
	交付対象事業費(※デジ田交付金を活用の場合)					—	
	交付決定額(※デジ田交付金を活用の場合)					—	

事業の目的	乳児(0歳児)のいる家庭におむつ等の育児用品の配布を行い、その際に子育て家庭への見守りや声掛けを実施し、子育ての不安解消や家庭が必要とする子育てサービスへつなぐとともに、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。																																																																																																
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 生活協同組合コープしがに業務委託を行い、事業を実施している。子育て経験のある配達員がおむつ等の育児用品を毎月1回、お子さんが満1歳を迎える誕生日月までおむつ用品等を配達する。配達員は子育て経験のあるスタッフが担当しており、子育てに関する悩みや相談を聞き取るとともに、市の子育て施策に関する情報提供を行う。相談内容に応じて、市の保健センターなどの専門機関へつなぎ、子育て世帯の不安や悩みの解消に取り組む。 おむつの宅配車は、メッセージが書き込めるように色紙風のラッピングを行っている。子育て世帯の子どもが生まれてきた喜びや感謝、子どもの未来への希望を宅配車に直接、記入してもらっている。 市生活環境課と連携して、おむつ用品等と一緒に1～2回市指定ゴミ袋を宅配している。 【令和6年度 実績】(令和7年1月末時点) 申請者数 1,064件 配達件数 5,158件 相談件数 131件 *令和6年度は令和5年4月2日以降に生まれた児童のいる世帯に対しても遡って支給している。 【今後の実施予定内容】 引き続き、子育て世帯に対して、おむつ用品等の宅配を行い、見守り、相談、情報提供を実施して、子育て世帯の不安解消、孤立防止に取り組む。 毎月、配達員とこども家庭センター担当でミーティングを実施している。配達員のスキル向上に取り組む。																																																																																																
課題	2割から3割程度、置き配により対面で出会えていない。 様々な相談に対応できるように配達員のスキル向上、こども家庭センターとの連携を強化する。																																																																																																
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="10">R6年</th> <th colspan="3">R7年</th> </tr> <tr> <th></th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①おむつ等用品の配達</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>②配達員とミーティング(月1回)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td><td>MTG</td> </tr> </tbody> </table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可														R6年										R7年				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	①おむつ等用品の配達														②配達員とミーティング(月1回)															●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG
	R6年										R7年																																																																																						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																				
①おむつ等用品の配達																																																																																																	
②配達員とミーティング(月1回)																																																																																																	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																				
	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG	MTG																																																																																				

事業シート

事業名	オープンガバナンス推進事業
-----	---------------

総合戦略における位置付け	重点戦略	重点戦略④:ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
	個別戦略	重点戦略④-ア:デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成			
	重要業績評価指標(KPI)	該当するKPIなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			

補助金・交付金	デジタル田園都市国家構想交付金	☒	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名		近江八幡市オープンガバナンス推進計画	
		☒	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績評価指標(KPI)	プラットフォームにおける交流・対話から生じた、市民や事業者主体の地域課題への取組数			
			数値	単位	時期
		基準値	0	件	R3年度
		目標値	10	件	R6年度
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 3月補正後の見込額 ※北里・老蘇の委託除く 【財源】 デジ田交付金(国) 442,826円 ふるさと応援基金繰入金 221,413円
	1	報償費	157,000	5	使用料	55,440	
	2	旅費	140,380	6	委託費	46,200	
	3	需用費	232,964	7			
	4	役務費	105,437	8			
	合計(全体事業費)					737,421	
	交付対象事業費(※デジ田交付金を活用の場合)					442,826	
	交付決定額(※デジ田交付金を活用の場合)					221,413	

事業の目的	地域課題が複雑化・多様化する中においても、公共サービスの維持・充実、市民や事業者が主体となる「協働のまちづくり」を一層推進するため、デジタルやデータの利活用等、時勢に合わせた新たなプラットフォームを構築する。																																																																												
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 ①オープンガバナンスを活用した事業の推進 ・北里コミュニティエリア構想ワークショップ、市民広場整備基本計画策定に向けたワークショップ等、各部署にてリアルとデジタルを融合した形でのオープンガバナンスの手法を活用した事業取組が進みつつある。 ②デジタルプラットフォームの運用 ・地域社会や市政への参画が難しかった層を含め、誰もが時間や場所を選ばず参加することのできるプラットフォームとして、LINEのオープンチャット機能を用いた意見交換の場を設置し、実証実験を経て、令和4年8月より本格運用を開始したが、運用上の課題から令和6年3月末に閉鎖。その後、テーマごとのオープンチャットとして活用に切り替えた。また、GrafferやGoogleフォームなど既存のシステムを活用した取組も増えつつある。 ③その他付随する取組 (令和4年度) ・LINEオープンチャットにおけるアイデアをもとに、令和4年10月22日(土)、「近江八幡市ゆるスポーツ大会」を開催。企画段階から当日の運営に至るまで、市民有志と行政による協働が実現した。その他、市民参加による「特色ある公園づくりワークショップ」を計2回開催し、現状の課題を挙げながら理想の公園について意見交換し、様々なアイデアが生まれた。 (令和5年度) ・令和6年3月6日(火)に西の湖プラットフォーム、令和5年8～12月には安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ(内容:西の湖編、城下町編 各2回、実施課:安土未来づくり課)を開催。コミュニティの形成に向けたリアル(対面)での交流機会を創出し、今後に関わるネットワークを構築に繋がった。																																																																												
	【今後の実施予定内容】 ・デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)については、令和4年度から令和6年度までであるため、オープンガバナンス推進協議会は令和6年度にて一区切りとし、令和7年度以降の開催予定はない。 ・令和7年度のオープンガバナンス推進事業の予算計上はなし。オープンガバナンスは協働のまちづくりを進めていくための手法の1つであると整理していることから、企画課単独事業としての継続はしないが、全庁的な取組として進めていくため、協働のまちづくり推進の中での活用を進めていく。 ・オープンガバナンスの推進自体は、積極的に事業取組へ活用していけるよう、次年度当初に職員向けに説明会を行うなど、全庁的な周知・理解を進めていく。																																																																												
課題	全庁的に周知・理解を進めていくが、必ずしもオープンガバナンスの手法で全施策に取り組む必要はなく、その施策の性質に合うかどうかにより活用していくものであるため、次年度の説明会だけに終わらず、定期的な周知は必要である。																																																																												
スケジュール	<table><tr><th colspan="10">R6年</th><th colspan="3">R7年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td>● オープンガバナンスを活用し</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>● デジタルプラットフォーム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>● テーマ別による</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>● オープンガバナンス推進協議会</td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可												R6年										R7年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		● オープンガバナンスを活用し												● デジタルプラットフォーム											● テーマ別による														● オープンガバナンス推進協議会
R6年										R7年																																																																			
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																	
	● オープンガバナンスを活用し																																																																												
● デジタルプラットフォーム											● テーマ別による																																																																		
												● オープンガバナンス推進協議会																																																																	

事業シート

事業名	オープンガバナンス推進事業(老蘇学区)
-----	---------------------

総合戦略における位置付け	重点戦略	重点戦略④:ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
	個別戦略	重点戦略④-サ:地域コミュニティの維持・強化			
	重要業績評価指標(KPI)	該当するKPIなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			

補助金・交付金	デジタル田園都市国家構想交付金	☒	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名 近江八幡市オープンガバナンス推進事業			
		☒	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績評価指標(KPI)	コミュニティの形成に向けたリアル(対面)での交流機会の実施数			
			数値	単位	時期
		基準値	2	件	R4
		目標値	10	件	R6
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 【財源】 デジ田交付金(国) 999千円 ふるさと応援基金繰入金 999千円 【委託先】 東京大学
	1	委託費	1,998,000	5			
	2			6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					1,998,000	
	交付対象事業費(※デジ田交付金を活用の場合)					1,998,000	
	交付決定額(※デジ田交付金を活用の場合)					999,000	

事業の目的	老蘇地区では、住民が主体となり、令和3年3月に老蘇学区まちづくりプランを策定した。最期まで地域社会の中で暮らし続けられるまちづくりの推進を目標に4つのアクションプランを推進する。 【アクションプラン】 ①「楽しく外出ができる」 ②「あらゆる世代が気軽に出会い、交流ができる」 ③「若い世代が生き生きと活動ができる」 ④コミュニティの輪で安心して暮らし続けられる これら4つのアクションプランの内、①と②の具体化を図る。																																																																																																								
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 ○①「楽しく外出ができる」、②「あらゆる世代が気軽に出会い、交流ができる」のアクションを推進。 推進組織である専門部会(名称:YOISYO!!、R3年度設置)でそれぞれ検討、推進。 ①楽しく外出ができる R3、4年度はあかこんバス(市民バス)利用促進をテーマに、専門家の講演や乗車体験、利用促進策を検討。 R5年度はあかこんバスの利用促進に加えて、学区単位で取組む互助輸送の事業開始(市事業)に伴い、実施に向けた検討を行った。 R6年度は前年度から検討を開始した互助輸送について、実証実験の実施に向け進めた。 [互助輸送の仕組みづくり] ・本格実証実験に向けて、活動の手引き案を作成。部会開催数:7回/年度 ・手引き案を作成し、互助輸送の運転ボランティアに関心のある方に対し、実証実験の説明会を開催。 ・実施主体は、老蘇学区まちづくり協議会 ・R7年1月～3月まで互助輸送実証実験(※市交通政策課事業)を実施中。 ②あらゆる世代が気軽に出会い、交流が出来る R4、5年度に農業が盛んな老蘇学区で「農での繋がり」をテーマにイベントを実施。 R6年度も引き続き住民主体によるイベントを継続して行えるような仕組みを検討。 部会開催数:7回/年度 ・目的:地域住民の交流機会を継続して行うことができる仕組みづくりを構築するため。 ・老蘇やき芋づくり、芋掘り体験、しめ縄リースづくりイベントを実施(R6年11月30日開催)。 →参加者26名、アンケート結果については別添参考資料のとおり。 ・味噌づくり体験イベントおよび交流会を実施(R7年1月25日開催)。 →参加者21名 ・継続する仕組みとして、繰り返し参加したくなるような仕組み(ポイントカード、イベント参加ノート等)について検討した。 【今後の実施予定内容】 ①楽しく外出ができる [互助輸送の仕組みづくり] ・実証実験の結果を踏まえ、互助輸送の本格実施。 ・実施主体はまちづくり協議会であるため、YOISYO!!の関わり方(サポート)について検討。 ②あらゆる世代が気軽に出会い、交流が出来る ・地域住民の継続した交流につながるような仕組みづくりを検討。 ・地域で行われているイベント等の集約化。(スタッフ負担減、参加者増を目指す) ※詳細については、全体会議の結果を踏まえ検討していく。																																																																																																								
課題	【楽しく外出ができる【互助輸送の仕組みづくり】】 ・今年度作成した活動の手引き案を利用者がさらに活用しやすくなるように修正を加えていく必要がある。 ・まちづくり協議会の福祉部に移動係を位置付けるなど、継続的な運営ができる体制の構築が必要。 【あらゆる世代が気軽に出会い、交流が出来る】 ・昨年度と同様、継続した交流に繋がるような仕組みづくりを検討していく必要がある。 【人材確保】 ・部会員の顔ぶれがR2年度(プラン作成時)より変わらないため、今後、担い手を探す必要有。 【情報発信】 ・学区民にYOISYO!!での活動がまだまだ知られていないのが現状であり、今後周知方法を改善しながら活動に取り組んでいく必要がある。 【財源】 ・今年度が交付金の最終年度になり、継続した交付金の確保は困難であるため、住民自らが自主的に事業を展開できるように支援をしていく必要がある。																																																																																																								
スケジュール	<table><tr><th colspan="10">R6年</th><th colspan="3">R7年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td>入札手続</td><td>★委託契約締結</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>●学区自治連合会 取組説明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●YOISYO!!(推進組織)部会</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●イベント (交流)</td><td></td><td>●イベント (交流)</td><td></td><td>●全体会議</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可	R6年										R7年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		入札手続	★委託契約締結													●学区自治連合会 取組説明																			●YOISYO!!(推進組織)部会													●イベント (交流)		●イベント (交流)		●全体会議																										
R6年										R7年																																																																																															
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																													
	入札手続	★委託契約締結																																																																																																							
		●学区自治連合会 取組説明																																																																																																							
								●YOISYO!!(推進組織)部会																																																																																																	
								●イベント (交流)		●イベント (交流)		●全体会議																																																																																													

事業の目的	本市では、協働のまちづくりを促進し、特色のある地域社会の形成に資するとともに、市民のコミュニティ活動及び防災活動の拠点として、各学区にコミュニティセンターを設置している。設置にあたっては、小学校、コミュニティセンター、学童施設等を一体化して整備するエリア整備を進めている。 老朽化する北里コミュニティセンターの今後のあり方を含む北里コミュニティエリア構想について、地元主導による議論を深めるため、東京大学と連携しワークショップやガリバーマップなどオープンガバナンスの手法を活用しながら地元住民と行政が協働のもと事業を推進していく。																																																				
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 <table><tr><td>令和2年</td><td>要望書受理1回目(コミュニティセンター先行整備)</td></tr><tr><td>令和4年</td><td>要望書受理2回目(コミュニティセンター・学校等一体化整備に変更)</td></tr><tr><td>令和5年10月～</td><td>準備会の開催、幹事会立ち上げ</td></tr><tr><td>令和6年 9月</td><td>東京大学との委託契約締結</td></tr><tr><td>令和6年11月</td><td>文化・福祉フェスティバルに合わせてガリバーマップの開催(実施結果は別添のとおり)</td></tr><tr><td>令和6年12月</td><td>第1回ワークショップ開催</td></tr><tr><td>令和7年 2月</td><td>第2回ワークショップ開催</td></tr></table> 【今後の実施予定内容】 6月～10月:学生によるコミュニティエリアに係るデザイン案の作成 9月～11月:地元によるデザイン案の協議(2回程度) 11月:文化・福祉フェスティバルにてコミュニティエリアに係るデザイン案を学区民に広く説明。													令和2年	要望書受理1回目(コミュニティセンター先行整備)	令和4年	要望書受理2回目(コミュニティセンター・学校等一体化整備に変更)	令和5年10月～	準備会の開催、幹事会立ち上げ	令和6年 9月	東京大学との委託契約締結	令和6年11月	文化・福祉フェスティバルに合わせてガリバーマップの開催(実施結果は別添のとおり)	令和6年12月	第1回ワークショップ開催	令和7年 2月	第2回ワークショップ開催																										
令和2年	要望書受理1回目(コミュニティセンター先行整備)																																																				
令和4年	要望書受理2回目(コミュニティセンター・学校等一体化整備に変更)																																																				
令和5年10月～	準備会の開催、幹事会立ち上げ																																																				
令和6年 9月	東京大学との委託契約締結																																																				
令和6年11月	文化・福祉フェスティバルに合わせてガリバーマップの開催(実施結果は別添のとおり)																																																				
令和6年12月	第1回ワークショップ開催																																																				
令和7年 2月	第2回ワークショップ開催																																																				
課題	現状としては、ガリバーマップやワークショップを重ねることで地元の機運の醸成、意識も変わりつつある一方で、学区役員の一部からは、「すでに議論は終えた」、「行政が場所を決めて進めていってほしい」などといった声がある。また、地元議員からもういつまで議論を続けるのか、もっと核となるメンバーで方向性を決めていくべきであるといった意見がある。エリア整備をめぐる意見の相違が発展して北里学区が分断されるような事態を避けること、また、エリア整備は地元にとって数十年に一度の大きな事業であり、今後のまちづくりを学区全体で考える絶好の機会となることから、学区住民の方が幅広く参画できるよう引き続き、大学等と連携し地元と行政が協働で進める。																																																				
スケジュール	<table><tr><th colspan="11"></th><th colspan="3">R7年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>● 委託契約締結</td><td></td><td></td><td>● ガリバーマップ</td><td>● 第1回ワークショップ</td><td></td><td>● 第2回ワークショップ</td><td></td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可																								R7年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						● 委託契約締結			● ガリバーマップ	● 第1回ワークショップ		● 第2回ワークショップ	
											R7年																																										
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																									
					● 委託契約締結			● ガリバーマップ	● 第1回ワークショップ		● 第2回ワークショップ																																										